



研修の企画運営された方を紹介 右から—
放射線科統括部長 肥田野暁医師
放射線技師 桑山朋巳さん
放射線技師 三浦俊彦さん
放射線技師 石田仁美さん

■ 2020. 10. 28

院内で【放射線診療従事者に対する研修】がありました。

令和2年4月1日医療法の一部改正施行によって、今年度から放射線診療を依頼する医師・歯科医師と、ガラスバッジ(個人被ばく線量計)を装着して放射線業務に従事している職員に対して年1回の研修が義務付けられました。その医療放射線に係る安全管理のための研修が開催されました。

当院は約200人以上が研修受講対象となり、医師・放射線技師・検査技師・臨床工学技士の方がみえ、看護職ではカテーテル内視鏡・手術室・救命救急センターの職員が参加していました。研修は放射線技師 石田さんがとてもわかりやすく講義をし、研修後小テストを実施していました。

低線量率・mSv(ミリシーベルト)と、看護学生の時に耳にしたような用語を久しぶりに聞きました。そして、ガラスバッジは毎月交換してチェックしていることを再確認しました。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。